



広島オーストリア協会

会報 No.39

平成28年4月30日発行
編集・発行／広島オーストリア協会
〒730-8552 広島市中区白島北町19番2号
広島ホームテレビ 総務局内
TEL(082)221-4964 FAX(082)221-4905



ヴァッハウ渓谷（オーストリアの世界遺産）

ご挨拶



広島オーストリア協会 会長

大辻 茂

会員の皆様方には、平素より広島オーストリア協会の活動に、ご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の広島オーストリア協会は、6月に年次総会、8月には講演会とビアホールの会、12月にはクリスマス例会、3月にはケーキと音楽を楽しむ会等のイベントで、年間を通じて多くの会員の皆様にご参加いただき、賑やかな社交の場となりました。

5月にはオーストリアで開かれた「ウィーン2015年名誉領事会議」に名古屋、旭川の名誉領事と共に出席し、ハインツ・フィッシャー大統領主催のレセプション等に参加する事が出来ました。私にとって非常に名誉ある経験をさせていただいたと思っています。

今後とも広島・オーストリア間の交流が、友好の精神に基づき、ますます活発になり、会員の皆様にオーストリアをより身近に親しんでいただけるよう、活動の充実に努めて参ります。皆様方の力強いご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

総会

- 日 時 平成27年6月10日(水) 18:30~20:30
- 場 所 ANAクラウンプラザホテル広島
- 出席者 90人

冒頭の挨拶で大辻会長から、ベルンハルド・ツィムブルグ大使が6月1日に広島市立大学平和研究所 研究フォーラムの招きで広島に来られ、「オーストリア平和政策の焦点～ウィーン会議からNPT再検討会議を経て見えてくる軍縮」

というテーマで講演をされた事が報告された。又、5月にウィーンで開催された2015年名誉領事会議に出席して、ハインツ・フィッシャー大統領、セバスチャン・クルツ外務大臣と挨拶をかわした事が報告された。懇親会では、エリザベト音楽大学の同窓生、小林良子さん中伴子さん大下さちこさんによるソプラノ・ヴァイオリン・ピアノが奏でるクラシックの調べで出席者はヨーロッパの音楽を楽しんだ。



平成27年度事業報告

- 平成27年度理事会・総会
6月10日(水) ANAクラウンプラザホテル広島(出席者:90人)
- 講演会・ピヤホールの会
8月27日(木) 広島アンデルセン(出席者:80人)
- クリスマス例会
12月2日(水) リーガロイヤルホテル広島(出席者:121人)
- ケーキと音楽を楽しむ会
3月12日(土) ホテルチュールリッヒ東方2001(出席者:35人)

平成28年度事業計画

- 平成28年度理事会・総会
6月6日(月) ANAクラウンプラザホテル広島
- 講演とピヤホールの会
8月
- クリスマス例会
11月
- ケーキと音楽を楽しむ会
平成29年3月

平成27年度役員(平成27年6月1日現在)

役員	氏名	現職
会長	大辻 茂	(株)広島ホームテレビ社長
副会長	中島 正夫	(株)広島銀行常務
	光井 安子	音楽家
	吉原 誠	マツダ(株)総務・法務室長
専務理事	草本 健資	(株)広島ホームテレビ総務局長
理事	青木 暢之	(株)中国放送会長
	浅井 幹夫	(株)中国新聞社専務
	伊藤 裕章	(株)広島ホームテレビ専務
	久保 雅史	広島エフエム放送(株)副社長
	熊平 雅人	(株)熊平製作所会長
	小溝 泰義	(公財)広島平和文化センター理事長
	中川 英二	三菱商事(株)中国支社長
	野坂 文雄	(株)もみじ銀行頭取
	林 克士	福山商工会議所会頭
	福島 真平	広島テレビ放送(株)相談役
	ヘルベルト・ピツヒラー	駐日オーストリア大使館公使
	箕輪 幸人	(株)テレビ新広島社長
	安田 祥行	(公財)ひろしま国際センター専務理事
	吉中 康彦	安田女子大学非常勤講師
監事	小野 雅樹	中国電力(株)副社長
	志水 省夫	(株)新日放社長

運営委員

役名	氏名	現職
委員	阿部 秀造	(株)阿部洋酒店社長
	宇田 均	(株)広自センター社長
	内海 輝雄	オフィスU代表
	大磯 弘志	(公財)広島平和文化センター国際交流・協力担当部長
	上瀬 博久	(公財)ひろしま国際センター交流部長(兼)総務課長
	小坂 哲也	広島国際大学教授
	田中 勝邦	広島カナダ協会・広島県日韓親善協会理事
	中本 圭二	マツダ(株)総務部総務コミュニティグループマネージャー
	光井 安子	音楽家
	和田 昭	(株)もみじ銀行 カスタマーコミュニケーション部長 兼 広報室長

特別役員

役名	氏名	現職
特別顧問	ベルンハルド・ツィムブルグ	駐日オーストリア大使
名誉会長	篠原 康次郎	
	橋本 宗利	(株)広島ホームテレビ参与
顧問	川野 祐二	エリザベト音楽大学学長
	岸田 文雄	衆議院議員
	湯崎 英彦	広島県知事
	深山 英樹	広島商工会議所連合会会頭
	松井 一実	広島市長

安倍圭子 国際ジュニア マリンバ音楽祭 in 広島

- 日 時 平成27年4月19日(金)
- 場 所 広島県民文化センターホール

この音楽祭は、世界中のジュニア達がマリンバ演奏を通して、平和交流を行う事を目的とした世界で初めての国際音楽祭で、被爆70年を迎える広島で開かれることは異議深

いこと。音楽祭にはオーストリアから16歳のガブリエル・ケーファー君が出演し力強い演奏を披露した。ケーファー君の父君はウィーンでピオラ演奏者という音楽一家の名家。「通リゃんせ」など日本のわらべうたを題材にした安倍作品をケーファー君はよく理解され、聴衆に大きな感動を与えた。



ウィーン2015年名誉領事会議に出席

- 日 時 平成27年5月28日(木)・29日(金)
- 場 所 ウィーン(オーストリア)

大辻 広島名誉領事が出席。ハインツ・フィッシャー大統領主催のレセプション等に参加。日本からは名古屋、旭川の名誉領事も出席した。

講演会・ピアホールの会

- 日 時 平成27年8月27日(木) 18:00~20:00
- 場 所 広島アンデルセン4階 スカンジナビアホール
- 出席者 80人

講演は、エリザベト音楽大学音楽文化学科 教授の福原之織氏。二年余りの留学生活で得た学びや経験を、楽しいエ

ピソードを交えてお話して頂いた。又引き続き行われた懇親会では、福原教授が「サウンド・オブ・ミュージック メドレー」など聞き覚えのある曲で心を和ませる演奏し、会場を魅了した。



クリスマス例会

- 日 時 平成27年12月2日(水) 18:00~20:00
- 場 所 広島リーガロイヤルホテル
- 出席者 121人
- 来 賓 アーノルド・アカラー副商務参事官

ゲストはアーノルド・アカラー副商務参事官。乾杯の挨拶では、パリのテロでオーストリアも難民問題に直面しているなどの実情が報告された。一方で、日本からオーストリアに年間25万人の方が訪れ、貿易額も30億ユーロと経済的にはオーストリアと日本の関係は引き続き良好であり、さら

に拡大に向け頑張りたいと抱負を述べられた。この後、広島で活躍する下松由夏さん、柳田信策さんの「ソプラノとピアノによるヨーロッパ音楽の夕べ」さらには恒例のクリスマスプレゼントの抽選会と会場は一つになり大いに盛り上がった。又、最後に特別企画として登場した広島ホームテレビの女性アナウンサーからクリスマスにちなんだ歌とダンスが披露され、訪れた会員たちは大いにクリスマス気分を満喫した。



ケーキと音楽を楽しむ会

- 日 時 平成28年3月12日(土) 14:00~15:30
- 場 所 ホテルチュールヒ東方2001
- 出席者 35人

エリザベト音楽大学卒業の末政優衣さん、桐原祐子さんによるピアノデュオコンサートで、1台4手で演奏されるク

ラシックやジャズ、日本の歌曲などの様々なジャンルの曲、また幅広く厚みのあるピアノの音色を楽しんだ。ケーキバイキングでは、バックケンモーツァルトさんのパティシエによるケーキショーの実演サービスがあり出席者を楽しませた。



ベルンハルド・ツィムブルグ大使来広

■日 時 平成27年6月1日(月)

広島市立大学広島平和研究所の招きで広島を訪れ、中区大手町にあるサテライトキャンパスで講演をされました。テーマは「オーストリア平和政策の焦点～ウイーン会議からNPT再検討会議を経て見えてくる軍縮～」。翌日、大使の

たつての希望で岩国にある錦帯橋を訪問。日本独特の木造建築と美しいアーチ型の造形に大変興味深く見られ、自ら写真を撮影するなどして楽しんでおられました。



広島名誉領事館が監査を受ける

■日 時 平成27年8月7日(金)

監査人として訪れたのは、大使が休暇中のため臨時大使として臨まれた、ヘルベルト・ピッヒラー公使。監査の結果、

国歌の入ったレコードとCD、又、オーストリア地図がないことが指摘され再度、オーストリア本国から送られました。



広島名誉領事室

大好評だったウィーン親善訪問団

広島オーストリア協会 運営委員 田中 勝邦

広島オーストリア協会メンバーと市民有志によるウィーン親善訪問団(団長:吉中康磨広島オーストリア協会理事)は昨年9月25日にウィーンで開催された「ジャパン・デー」に参加しました。

この「ジャパン・デー」は2009年9月にウィーン市オッタクリング区役所前広場に広島の被爆石による「平和モニュメント」の建立を記念して以来毎年開催されているものです。

今回は小中学生が中心の「広島ジュニア・マリンバ・アンサンブル」12名と笙生田流師範の立川淑恵さんを含め21人が参加しました。



広島市提供

当日は生憎の小雨模様の天気でしたが、フェスティバルは平和モニュメント前の特設ステージでプロコップ区長(公選制)を始め地元ウィーン市民が見守る中で開催されました。

開会式ではプロコップ区長の挨拶に引き続き、吉中団長から松井広島市長、そして私から大辻広島オーストリア協会会長のそれぞれのメッセージを読み上げ区長に伝達しました。

フェスティバルはマリンバの演奏でスタート「フィガロの結婚」序曲や「日本の祭り」など数曲が終わると会場からの拍手が鳴り止まず、アンコールは異例の3回に及びました。引き続き、箏の演奏が続き「千鳥の曲」や「荒城の月」など日本の曲と共に、オーストリアの国民的愛唱歌シューベルトの「野ばら」まで演奏、最後に、私たち参加者全員も登壇して「さくら、さくら」など会場のウィーン市民と一緒に大合唱となりました。

当初、このフェスティバルは夜9時まで行われる予定でしたが、雨がひどくなり私たちのパフォーマンスが修了した段階で中止となり、急遽、区役所内で私たち訪問団への大歓迎パーティとなりました。

プロコップ区長は「遠路はるばる広島からの”音楽平和大使”に大感動しました」と述べ、私たち訪問団をねぎらうと共に「次回はウィーン市民と一緒に広島を訪問したい」とのコメントに参加者一同も大喜びでした。

訪問団はウィーン滞在中に音楽芸術中高校でも演奏による交流会参加や国連本部を見学するなど「ヒロシマ親善大使」の役目も果たしました。

また、プロコップ区長から松井広島市長と大辻会長宛てに親善訪問団の派遣への感謝と今後とも「ウィーンと広島との市民交流」を継続したいとの返書が託されました。

松井広島市長はこの返書に答え、昨年11月ウィーンでの平和市長会議の出張に併せ「平和モニュメント」を見学、プロコップ区長から大歓迎を受け親しく交流をされました。

ウィーンも第二次大戦では大きな戦争被害を受けており、市民の平和に対する思いも大変深く、私たち親善訪問団も国境を越えたウィーン市民との友好親善の促進を音楽活動を通じて直接体験できる素晴らしい旅行でした。



編集後記

一昨年の23人に続き、昨年度も13人の新入会員が広島オーストリア協会の仲間として加わりました。事務局を担当して年々減少が続いていた会員数にも歯止めがかかり、平成27年度ようやく増加に転じました。12月のクリスマス例会では、恒例のお楽しみ抽選会に続き、HOME女子アナによるミュージカルを特別に上演しました。他の会では絶対に見ることの出来ない局の女性アナウンサー達による歌とダンスの披露に、参加された会員の皆様は大変満足されている様子でした。今年度も中身をさらに充実させて、会員の皆様にとってためになる楽しい会になるよう努力してまいりますので、今後ともご協力よろしくお願いたします。ご意見やご希望などがありましたらご遠慮なく事務局までご連絡ください。
(事務局 野崎賢治 記)